

令和元年 7 月 29 日
総合政策局国際政策課
(グローバル戦略)

「MADE WITH JAPAN」の理念共有へ！

アフリカ各国の将来を担う留学生に向け、 日本の「質の高いインフラ」紹介と日本の民間企業との交流

～アフリカ各国留学生向け「日本の質高インフラ視察ツアー」を開催しました～

国土交通省は 7 月 19 日、来月末に横浜で開催される「第 7 回アフリカ開発会議 (TICAD7^{※1})」に向け、アフリカ各国への日本の「質の高いインフラ」PR の一環として、「日本の質高インフラ視察ツアー」を開催しました。

今回は、中長期的な人材育成の観点から、アフリカ各国からの留学生 (14 カ国 21 名) にご参加いただきました。

参加者は、羽田空港地下にて施工中のトンネル掘削現場や、東京スカイツリーの構造について視察しました。

また、日本の民間企業と留学生が交流する機会を設けました。留学生にとって、日本企業のアフリカにおける活動状況や関心を直接聞くことができ、将来の参考になった様子でした。

ツアー最後に、TICAD7 の告知も行ったところ、留学生からは高い関心を集め、当日ボランティアとして参加したいという声もありました。

1. 開催日 : 令和元年 7 月 19 日 (金)
2. 主催 : 国土交通省 [協力: アフリカ・インフラ協議会 (JAIDA^{※2})]
3. 参加国・人数 : 14 カ国 21 名

アルジェリア、エジプト、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カメルーン、ケニア、タンザニア、チュニジア、ナイジェリア、南アフリカ共和国、モロッコ、ルワンダ (インドからも 1 名)

4. 結果概要 : 別紙をご覧ください。

※1 Tokyo International Conference on African Development の略で、アフリカの開発をテーマとする国際会議。詳細は外務省ホームページ (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/index.html>) を参照ください。第 7 回は来年 8 月 28 日から 30 日まで横浜にて開催。 TICAD7 ロゴマーク→



※2 アフリカ・インフラ協議会 (JAIDA = Japan Africa Infrastructure Development Association の略) 2016 年 9 月設立。官民インフラ会議への参画を促進し、我が国の「質の高いインフラ」を支える技術や経験等を積極的に情報発信するとともに、相手国との関係構築、交流を促進することを目的として活動しています。

問い合わせ先

総合政策局国際政策課 (グローバル戦略)

杉浦、斎藤 (内線 25228, 25226)

TEL : 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8314 (直通)

FAX : 03-5253-1562

① 現地視察：羽田空港地下における「際内トンネル」掘削現場(羽田空港)

羽田空港の地下に、国内線と国際線を繋ぐため施工中の「際内トンネル」の掘削現場や遠隔操作をする中央制御室等を視察しました。留学生からは、目の前のシールドマシンの技術や完全自動化に向けたコンピュータ制御技術に対して高い関心が示されました。



<トンネル掘削現場見学の様子>



<トンネル入口での集合写真>

② 日本の民間企業(JAIDA企業)との交流会

JAIDA企業と留学生が、カジュアルな雰囲気の中で交流しました。企業からは、各社の技術の紹介やアフリカでの活動・実績などを説明し、留学生からは、技術に関する質問や、実際にアフリカで働く場所や環境など、自分が日本企業で働く場合のイメージについて具体的な話も多く出ました。将来、日本とアフリカの架け橋になりたいと熱く語る留学生もあり、みな積極的に発言していました。



<意見交換会の様子>



<意見交換会の様子>

③ 現地視察：東京スカイツリー構造見学(押上)

東京スカイツリーの開発から携わっている方から、東京スカイツリーの機能や構造についての解説を受けた後、タワーの揺れを低減する塔体中央にある心柱などの構造物や高層階展望台を見学しました。留学生からは、事業実施に至る背景やスケールの大きさ、綿密に計算された構造に高い関心が示されました。



<スカイツリーの構造、機能についての解説>



<現場での説明の様子>